

在トリニダード・トバゴ日本国大使館管轄9か国の治安情勢  
(2017年6月)

1 トリニダード・トバゴ (TT)

(1) 強盗事件の発生状況について (1月1日から6月14日まで)

TT警察は、強盗発生件数が前年同期から8%減少(1,255→1,154)と発表。その内、けん銃使用32%(370件)、刃物使用4.8%(56件)であった。警察では、個人で防犯対策を講じ、警察官からのアドバイスを求める様にと広報している。

(2) セントジェームス地区におけるけん銃殺人事件

6月3日午前10時頃、ポートオブスペイン市セントジェームス地区の路上で、41歳の男がけん銃で撃たれて死亡しているのが発見された。警察は、地元ギャングの抗争とみて捜査している。

(3) セントジェームス地区における強盗等事件

6月4日午前5時45分頃、ポートオブスペイン市セントジェームス地区を男女4人組が歩いていたところ、けん銃所持の2人組の強盗に襲われ、現金等を強取されたあげく住居まで案内させられて、同所で女性が性的暴行を受ける事件が発生した。

(4) 高速道路上に狙撃者、運転手を無差別攻撃

6月4日午後11時頃、何者かがビーサムハイウェイを走行中の車に対してライフル銃様のものを発砲し、運転手が胸部を撃たれて重傷を負った。警察は、無差別的な狙撃とみて捜査している。

(5) アジア系住民(中国人)を狙った凶悪事件の連続発生

6月に入り、中国人を狙った犯罪が連続発生している。3日にはアリマ地区所在の中華レストランがけん銃所持の強盗に襲われて経営者が撃たれて重傷、14日昼前には、中国人夫婦宅にナイフ所持の強盗が押し入り宝石類を奪って逃走(犯人は検挙)、15日夜には中国人経営者が待ち伏せていた2人組により、60発以上の銃弾を撃たれて殺害された。

(6) ラベンティル地区で男3人が射殺

6月19日午後、ラベンティル地区(POS東部)において、男3人(TT人、ベネズエラ人、ドミニカ共和国人)が射殺されているのが発見された。警察では、3人が何かの違法取引の最中に殺害されたとみて捜査している。

(7) 白昼のダウンタウンで、強盗を発端とした銃撃戦の発生

6月21日午後3時、ポートオブスペインのダウンタウンで、強盗に襲われた非番の刑務官が、許可を受けて所持していたけん銃で応戦して強盗と銃撃戦となり、流れ弾に当たった通行人が負傷した。

(8) 中国人経営者が強盗に抵抗し殺害

6月27日(火)午後9時ころ、サンタクルーズ地区(トリニダード島北部)所在の中国人女性(33歳)経営の商店に強盗2人組が押し入って現金を要求したところ、これに抵抗した同経営者が撃たれ、死亡した。女性は別の地域で商売をしていたが、強盗被害に数回遭ったため当地へ移転していた。本年に入って、犯罪に巻き込まれて殺害された中国人は3名となった。

(9) セントヘレナでの強盗犯2人を警察官が射殺

6月28日(水)午後1時ころ、セントヘレナ(国際空港南部)所在のバーに強盗が押し入り、客と、店内設置の賭ばくゲーム機を管理していた中国人に対し現金を要求し、約2000TTドル(約3万3000円)を強取して逃走したが、追跡してきた警察官に射殺された。

(10) 飲食店経営者が誘拐被害に遭うも解放

6月29日(木)午前3時、サンフェルナンド市所在の飲食店経営者が、出勤したところを誘拐された。親族に対して身代金(合計27万TTドル、約450万円)の要求があり、2度にわたって払ったところ、14時間後に解放された。本年度初めての身代金目的の誘拐事件であった。

2 ガイアナ

殺人発生率の減少(本年1月から5月12日まで)

ラムジャタン国家安全保障大臣は、本年の殺人事件が41件となり前年同期(55件)の25%減少し、解決率は85%と高水準を維持していると発表した。これには、国民からの信頼を得たこと、警察官にプロ意識を持たせたこと、他国からの資機材や技術支援の3つの施策が功を奏したと述べた。

3 スリナム

金鉱山での衝突で4人負傷

6月21日、首都パラマリボの南方100kmにあるカナダ系企業運営の金鉱山を無許可の採掘業者約100人が占拠し、同社の重機等を破壊等したが、警察部隊により鎮圧された。約4時間占拠され、計4人が負傷した。

4 アンティグア・バーブーダ

違法薬物7800万ECドル分を焼却処分

裁判所で没収された大麻、コカインを含む違法薬物約7800万ECドル(約32億円相当)が焼却処分された。警察によると、年に数回、焼却処分を実施しているとのこと。